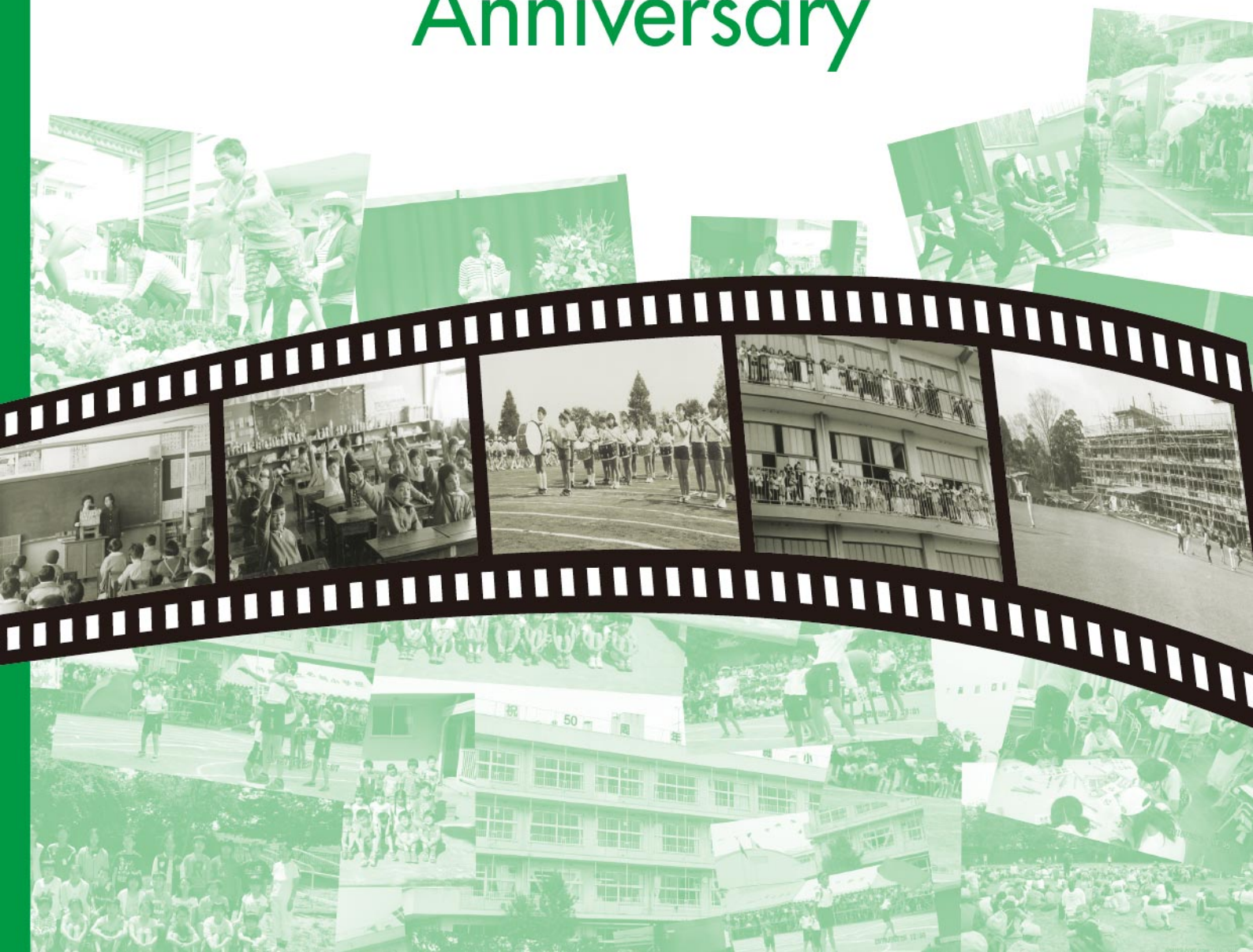


川越市立名細小学校 開校 50 周年記念誌



50th Anniversary





50th Anniversary

川越市立名細小学校開校 50 周年記念誌

なかよく かしこく たくましく





名細小学校校歌

小鹿野 富士雄 作詞
清水 隆雄 作曲

- 一、小畔のつつみ 草萌えて
はるかに富士の 雪光る
ああ 名ぐわし 名細小学校
明るい窓が 校庭が
きょうも希望を 呼んでいる
- 二、歴史ににおう 武蔵野の
千草の花の とりどりに
ああ 名ぐわし 名細小学校
ゆたかにみゆる 稲のほが
日々の努力を 教えてる
- 三、世界の空に 目をあげて
いそしみはげむ しあわせよ
ああ 名ぐわし 名細小学校
寄せ合うつばさ 雁の輪に
あすの誇りが おどってる

学校教育目標

なかよく

かしこく

たくましく



目次

学校全景航空写真・校歌	2
学校教育目標	3
校章・校旗・	
50周年記念マスコットキャラクター	4
開校50周年によせて	
名細小学校校長・記念事業実行委員長	5
川越市長・川越市教育委員会教育長	6
第10代・第11代校長	7
第12代・第13代校長	8
第14代・第15代校長	9
第27代・第28代・現PTA会長	10
開校50周年記念式典	11
第50回名細小学校春季大運動会・	
バルーンリリース	12
名細小学校行事紹介	14
みんなで作った50周年の裏側	16
みんなからのひと言	17
「今、いちばん好きなこと」	
1年生	18
2年生	22
3年生	25
「今、夢中になっていること」	
4年生	28
5年生	31
6年生	33
沿革・歴代校長・歴代PTA会長	36
開校50周年記念事業概要・	
実行委員紹介・編集後記	37
在校生集合写真	38
平成28年度名細小学校教職員	40



校章

昭和42年、名細北小学校、名細南小学校、下小坂分校の3校が統合されました。このことから3羽の雁で結ばれています。

未来に向けてはばたくこの3羽の雁は、太田道灌ゆかりの地である川越を象徴して表現したものです。



校旗



50周年記念マスコットキャラクター

「なっち」 「かっち」 「たっち」
なかよく かしく たくましく

3校を統合して開校されているので、3羽が仲良く手を取り合っている様子は、学校の成り立ちも表しています。



開校50周年を祝して

名細小学校校長
長谷川 郁代



名細小学校が開校50周年の記念すべき年を迎え、皆様と共にお祝いができますことに
限らない喜びを感じております。

名細小学校は、昭和42年4月に、名細南小・名細北小・下小坂分校が統合して、開
校しました。開校以来、本校が積み重ねてきた50年の歩みの中で、地域の皆様、保護者の皆様、歴代の校長先生は
じめ教職員の皆様の、絶え間ないご努力とご協力によって、現在の名細小学校を作り上げていただきました。その歩み
を受け継ぎ、現在、学校教育目標を「なかよく・かしこく・たくましく」とし、豊かな心を持ち自分で考えて行動する子の
育成を目指して、全教職員で懸命に教育活動を進めております。

恵まれた環境の中で、本校の児童は伸びやかに成長し、6,292名の卒業生が巣立っていきました。そして、現在、
在籍している608名の素直で明るい子どもたちの姿に、よき伝統が脈々と生きていることを感じます。

名細小学校は、これからも、児童・教職員・保護者・地域、「みんながかがやく学校」であり続けるために、歩み続けます。

結びに、本校の発展のためにご支援いただいた川越市、川越市教育委員会、そして、地域の皆様、保護者の皆様に、
深く感謝申し上げるとともに、今後とも名細小学校のさらなる発展のためにご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、
挨拶いたします。



50周年によせて

開校50周年記念事業実行委員長
第29代PTA会長
鈴木 逸人



本年度、川越市立名細小学校は開校50周年を迎えることができました。

この大きな節目に記念事業を挙行するにあたり、多くの方にご協力をいただきました。

本校の歴史を作っていただいた歴代の川越市当局の方々、教職員やPTA、名細地区の
各団体様や地域の皆様に支えられ50年の歴史を刻んできました。厚く御礼申し上げます。

2年前に開校50周年事業実行委員会を発足し、「なっち・かっち・たっち」のマスコットキャラクター募集をきっかけ
に多くの行事参加や環境整備を中心に取り組んできました。そして、10月29日に記念式典を開催する運びとなりお祝
いしていただきましたこと大慶に存じます。

名細小学校の50年の歴史の背景には、多くの方の支えによって、人間関係や協力体制を学んだ卒業生は世の中心と
なり活躍しております。地域で愛され、学んでいる今後の卒業生についても地域の中心となり、活躍してくれると確信し
ております。

この50周年を新たな出発点として、教育環境がより整備され本校が発展できますよう地域の皆様のご支援、ご協力
を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご多幸とご発展を祈念しご挨拶いたします。



開校50周年を祝して

川越市長
川 合 善 明



川越市立名細小学校が開校50周年を迎えられますことを心からお喜び申し上げます。本校は、名細南小学校、名細北小学校、下小坂分校が統合され、昭和42年の開校以来、50年間にわたり、保護者や地域の皆様と手を携え、子どもたちの健全育成に尽力してこられました。本校の発展に力を注がれてこられた皆様に対しまして、深く感謝を申し上げる次第であります。

さて、本市では、平成28年度から10年間の街づくりの指針となる第四次川越市総合計画を策定し、将来都市像として掲げた「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち川越」の実現に向け取り組んでおります。未来の川越を担う子どもたちにとっては、人と協調しながら自らの意志で道を切り開く力を身に付けることが重要であります。そうした中で、本校では、自ら進んで正しく判断し主体的に行動できる児童の育成を目指した教育を推進され、地域の皆様から大きな信頼を得ております。今後も、子どもたちを大切に育み、地域や保護者の期待に応える学校づくりのため、ご協力をお願い申し上げますとともに、本校の益々の発展と関係各位のご健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。



開校50周年に寄せて

川越市教育委員会教育長
新 保 正 俊



川越市立名細小学校が開校50周年を迎えられますことを心からお喜び申し上げます。本校は、昭和42年4月の開校以来、地域に根ざした学校づくりに取り組んでこられました。「豊かな心を持ち、自分で考え行動する子の育成」を学校教育目標に掲げ、「相手の気持ちを考え行動する子」「自ら考え行動できる子」「最後までねばり強くがんばる子」の育成に向け、保護者や地域の皆様の期待に応える教育活動の推進に努めております。また、人権尊重の精神に基づく教育活動を展開し、「人権教育推進事業」等の川越市教育委員会の委嘱研究にも取り組み、学校の教育力を高めてこられました。このことは、今年度スタートした「生きる力と学びを育む川越市の教育」を基本理念とする第二次川越市教育振興基本計画の目標の一つである「ふれあいと思いやりのある地域社会の実現」に大きく寄与するところです。今後も、一人ひとりが大切にされ、規律ある中に温かさを感じることができる「みんながかがやく学校」の実現に向けた教育を一層推進していただくことをお願い申し上げますとともに、本校の益々の発展と関係の皆様方のご健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。



小畔と共に

第10代校長
河野 哲夫



名細小学校が開校50周年を迎え記念誌を発行されますこと誠におめでとうございます。
私は平成7年度から3年間お世話になりました。開校から30年を経て校舎等のメンテナンスを必要とする時期でもあり、1年目は北校舎大規模改造、2年目はプールと体育館改修工事、3年目は南校舎玄関設置工事と矢継ぎ早に工事がおこなわれました。多忙ではありましたが、施設が新たに再生される様は子どもたちにとっても心うれしく感じてくれたと思っています。地域の方々の学校への思いは厚く、平成8年度の開校30周年事業もPTA関係の皆様の多大なご支援で実施できたことと深く感謝しております。また、「子ども110番の家」も市内に先駆けて着手いただき、名細地区全体の取り組みに高めていただいたことは、地域の素晴らしさを確信できることでした。名細小は学校全体を包む緑の豊かさが特色のひとつです。早春の校舎から見る風景は日々色彩が変化し、小畔の緑と校庭のメタセコイアの芽吹きがいつも明るさと力強さを与えてくれました。今後もよい環境の中で育つ名細小の子どもたちが、未来に向かい明るく豊かに成長されることをご祈念申し上げごあいさついたします。



開校50周年を祝して

第11代校長
松本 英雄



開校50周年、心よりお祝い申し上げます。
私は、本校に3回勤務できた事を誇りに思っています。昭和43年度から教諭で5年間、平成元年度から教頭で3年間、平成9年度から校長で3年間、教職生活の3割近くになります。この間、子どもは勿論、保護者・PTA、地域の皆様には大変お世話になり大過なく過ごせました事、心から御礼を申し上げます。最初は学校発足後の2年目、新任教師としてスタート。子どものよさを生かした教育活動で日々充実した時を過ごさせてもらいました。ここでの進取の気性の5年間が、教職生活の大本になりました。2回目は、新任教頭として。「綺麗に、整理整頓」を目標に、除草作業に力を入れました。夏季休業中、除草作業を1日続け草刈機が壊れた事もありました。PTAの協力で飼育小屋が完成、孔雀やウサギが入り、子どもの豊かな心の育成に大いに役立ちました。3回目は校長として。平成12年度に特別支援学級がスタートしました。その準備段階で、特別支援学級の担任経験が活かしました。本校に通う子どもは、指導熱心な教師に導かれよい子に育ち、学校は、保護者・PTA、地域の皆様に支えられ、益々発展するよう心から祈念しております。



名細地区で育てられたこと

第12代校長
村田 剛 徹

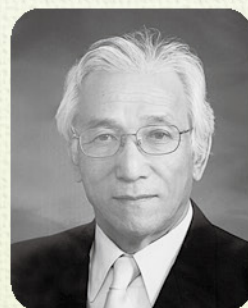


名細小が開校して50年を迎えられることは、広谷小を含め名細地区に20年近くお世話になった者として感慨もひとしおです。名細地区の歴史、子どもや地域の人たちとの触れ合いから教師として人間として大切なことを学ばせていただいたことは私にとっての宝だと思っております。名細小の歴史は奇しくも私の教師としての歴史とも重なり合っており、教師になる前年が開校の年であり、ほぼ同じ年数を歩んできたことになります。特に私の場合は同和教育推進教員としてもお世話になったお陰で、地域の方々と触れ合いから、名細地区の歴史について深く理解することができ、人権教育の本質的なことを教えていただきました。もう1つは、特別支援学級の純真な子どもたちとの係わりで学んだ、すべての人は様々な違いを持っているが人間として皆同じだということです。しかし、現実にはそれが忘れられ、違いを見つけては排除しがちな社会があります。名細小はこれからもそのようなことのない1人1人の子どもの人権が大切にされた学校であり続けることを祈念してあいさつとさせていただきます。



地域とともに

第13代校長
小金澤 秀 喜



豊かな自然環境に恵まれ、歴史と伝統ある名細小学校の開校50周年の節目に巡り合えたこと大変光栄です。私は、平成16年4月新任校長として着任、その後3年間お世話になりました。当初は、重責と緊張感から心がくじけそうになることもありましたが、毎朝「おはよう」と挨拶を交わした子どもたちの声に励まされ、また時には校長室から眺める「小畔のつつみ」の四季折々変化する美しさに癒されました。初めて経験したことは年月を経ても鮮明に蘇ってくるもので、名細小学校は私にとって忘れられない学校になりました。「子どもたちは地域で生まれ、地域で育つ。」と言われます。名細小学校の子どもたちも例外ではなく、地域の多くの人々に温かく見守られながら日々成長しました。それは一つに、健全育成のため地域の各種団体それぞれがその特色を活かした活動を企画し、組織的・主体的に取り組んでいただいたこと。また、学校行事や学習活動にいたるまで、各自治会、PTA役員、保護者、東洋大学関係者等、多くの皆様にご支援ご協力をいただいたことです。開校50周年を契機に、子どもたちの明るく元気な声がひびきわたり、地域の人々の中に生き続ける名細小学校でありますよう祈念しています。



開校50周年によせて

第14代校長

礒田 祥史



名細小学校開校50周年、おめでとうございます。この節目の年に関係の方々が実行委員会を組織され、綿密な準備のもと諸行事を推進されたことに心からの敬意とお祝いを申し上げます。私は平成19年度から4年間、校長としてお世話になり、明るく元気な子どもたち、情熱溢れる教職員、多くのご支援をいただいた保護者や地域の方々のお陰で充実し、思い出深い教職生活を過ごすことができました。中でも在任4年目の耐震補強工事が強く心に残っています。南北両校舎と体育館を1年間で耐震化するという大規模な工事で、耐震と耐えるの「耐」を合い言葉にした年でした。完了までの通学路の変更、校庭の使用制限、校長室や職員室等の公民館への移動等、授業や諸活動に多くの不自由がありましたが、関係の方々のご理解とご支援により無事に耐震化を果たすことができました。完了検査11日後の東日本大震災では激しい揺れに襲われましたが、けが人を出すことも施設破損ありませんでした。子どもたちのために、どのような時も一丸となれる関係の方々のお陰だと深く感謝したことを忘れられません。今後も子どもたちのために名細小学校が益々の飛躍発展されますことをお祈りいたします。



なかよく かしこく たくましく

第15代校長

齋藤 薫



私が全校遠足で見回っているとき、地域の方から「上手に遊べる子どもたちですね」とお褒めの言葉をいただきました。ちょっとやんちゃな高学年でも、低学年の子には慕われる優しさを、ちゃんともっていてくれました。良い人生は良い人間関係で築かれる。そのことが証明された75年間の研究成果があると聞きます。このことは、人が互いに認め合い尊重し合うための「人間関係形成力」が、どれだけ重要であるかを示してくれていると思います。そして、この力はグローバルな社会にあって、益々、子どもたちに育てたい主要能力の一つだと言われます。名細小学校では「なかよく」「かしこく」「たくましく」を学校教育目標に掲げ、それを50年間育ててきました。そして、これからもずっと、そういう学校であってほしいと願っています。



50周年によせて

第27代PTA会長 荒井 健二



名細小学校開校50周年、誠におめでとうございます。私は、長男の入学説明会に参加した際に当時のPTA役員の皆様に誘われ、平成24年からPTA活動に携わり、今も陰ながらお手伝いをさせていただいておりますが、それまで全く面識のなかった先生方や地域の方々、役員の皆様他、様々な方と知り合う事が出来た事、特に子どもたちに顔を覚えて貰え、声を掛けて貰える事は何より嬉しい事です。また、自身の仕事が思わぬ形でPTA活動の役に立っている、さらにPTAでの活動が仕事にも活きるとは、夢にも思っていませんでした。思わぬ「縁」がこうして今の自分を形成しているのだと実感しています。50周年記念事業としてパルーンリリースを行い、北斗晶さん他たくさんの方からメッセージをいただきました。子どもたちのメッセージを見て温かい気持ちになったとの返信をいただけた事が本当に素晴らしい事と思います。50年に渡り、歴代の先生方、PTAの皆様、地域の皆様、様々な「縁」が学校を大きくし、また「新しい縁」が更に学校と子どもたち、私たちをも成長させてくれる事でしょう。この縁を活かし、皆様の益々のご発展を祈念し、挨拶の言葉といたします。



50周年によせて

第28代PTA会長 小峰 繁



この度は、歴史と伝統のある川越市立名細小学校が、開校50周年という節目を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。また、50周年を迎えるにあたり歴代の校長先生をはじめ教職員の皆様方、ならびに地域の皆様方には、子どもたちへのあたたかいご支援をいただき、子どもたちの健やかな成長を見守りいただきましたことを心より感謝申し上げます。私は3年間PTA役員として活動させていただきましたが、名細小学校の子どもたちが明るく元気に、そして安全に学校生活を送れるのは、本当にたくさんの方に見守っていただいているということを「ふれあい祭り」などのPTA活動を通して様々な場面で強く感じさせていただきました。今後も地域の宝物である子どもたちへのあたたかい見守りを、どうぞよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、名細小学校が100周年に向けて今後も益々ご発展されることを心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



50周年によせて

現PTA会長 高橋 泰博



川越市立名細小学校開校50周年を迎えましたこと、保護者を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。この記念すべき節目の年にPTAに在籍していることを大変光栄に感じております。50年という長い歴史、この名細という地区の四季折々の素晴らしい環境の中で充実した時間を過ごしてこられたのもひとえに、歴代の校長先生をはじめ、教職員、保護者、地域の皆様が子どもたちの健やかな成長を見守り、学校を盛りたててくださったからこそと存じます。その歩みの過程にはいろいろな課題を抱え、多くのご苦労やご努力があったことだと察します。これらを乗り越えることのできた過去に改めて敬意を表すると同時に、これからの子どもの未来のため、幸せのため、更に何ができるのかということを問いかけながら、互いに声をかけ励まし合い一緒に力を合わせていきたいと思っています。名細小学校は、この地域の中心となる存在です。この先未来もずっとその存在であり続けるでしょう。良き伝統と校風を祝い、子どもたちの夢が広がる学校として益々のご発展を心から祈念いたします。

えして新たな歴史を...



自分の道は前に進めば必ずある



